

○ ○ 様

○○小学校の研究発表会 お疲れ様でした。

本発表会に参加させていただいて、感想を少し書きます。

まず、自力思考ですが、各自が自力思考したあと、よく分からない人のために班の形になりました。分からない子がすぐに聞けるということからすれば、初めから班の形になって自力思考を行った方が自然だと思いません。

全体交流については、分からない子からスタートすべきだと考えます。分かっている子、できている子から発表するということは、分かっている子、できている子がすばらしいという評価を暗に教師がしています。できるようになること、分からないことを分かるまで取り組むことを評価したいです。

分科会では、班内では説明できるが、他の子が分かるように伝えることが苦手であると担任から説明がありました。他の子が分かるように伝える必要があれば、もっと熱く説明することになろう。分からない友だちを分からせるということがその必要性となります。分からない人にどこが分からないか、どこまで分かっているのかを共有し、分からない子が分かるように意見交流しながら、課題解決を図っていきたい。

講演会でA児が困っていて、真剣に友だちの話を聞いている様子が動画で映し出されていました。A児が困っていることをみんなで解決していくことで、つまずきやすいところ、間違いやすいところをみんなで確認しながら進めることになると思います。

こういった授業展開を繰り返すことで、分からないことを、分からないから教えてということの価値、分からない子に分かるように伝えることの価値が暗に伝わっていくのではないのでしょうか。教えてもらって分かるようになったという喜び、一生懸命に説明して相手が分かってくれたという達成感や喜びが毎時間、くり返し行われるのではないのでしょうか。このことが次への意欲になると思います。

これは現在、本校で取り組んでいる内容です。どこまでやっているか、気になるところではありますが、他校でも実践していただけるといいなと思っています。